

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



3月に国際女性の日という祭日があり、女の子達を中心に遊びに行っていました!写真は出掛ける前です(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日、一時帰国していた、カンボジア孤児院の前田スタッフの報告会が長野県で行われました。

報告会では、カンボジア孤児院だけではなく、ビデオを通してザンビア孤児院の報告も行われました。

報告会には数十名の方々が来会して下さり、また、ネットを通して中継され、多くの方々に孤児院の現状や働きを伝えることができ、非常に有意義な時となりました。特にザンビアでは、学校建設を初めとして働きが大きく前進しており、私共の事業に対するザンビア政府やルサカ市の期待の大きさを感じることができました。もちろん、ザンビアだけではなく、カンボジアでも働きは進んでおりますが、ただ働きが進むと同時に、やはり必要も大きく増えます。日本円にしてあと数万円でも多く送金できればどれだけ子供たちが助かるか、本当にそのことを痛感させられています。皆様の御支援は確かに子供達のいのちに結びついています。

どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。2月中旬過ぎから2週間弱、日本に一時帰国しました。昨年9月から日本に日本語を学ぶ為に留学しているNAに会うことが出来とても嬉しいひと時でした。学校は丁度春休みに入り、これまでの成績と試験の結果を受取っていましたが、とても良い成績で頑張っていることがわかりました。住んでいる所も、駅に近く生活するのにとても便利な場所だとわかり、安心しました。私は一時帰国するたびに日本の変化に戸惑ってしまうのですが、NAがすっかり日本の生活に慣れていていろいろ助けてくれて、以前よりとても頼もしく感じるものがありました。今回は孤児院報告会が1ヶ所のみだったので行われて、カンボジア孤児院の近況と状況を皆様にお話しさせて頂きました。特に現在継続した新しい孤児院の子ども達を受取る為の経済の必要があります。また、カンボジア孤児院の毎月の運営費の不足が続いていますので、カンボジア孤児院指定ということで皆様にご支援をお願いできれば幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



留学中のナオミ

## フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援ご協力を心から感謝致します。  
3月は就学支援生たちにとって忙しい月になります。2023年～2024年の学年は、5月には修了する予定です(具体的な日程は未定)。  
子どもたちは既に進級式の準備などを始めています。しかし高校生や10年生には、課題や研究発表、論文など、学年修了までに完了しなければならないことが、まだたくさんあり、とても忙しくしています。  
皆様の力強いご支援によって、子どもたちは良い環境の中で勉強することが出来ています。皆様の子どもたちに対するご愛によって子どもたちは将来に確かな希望が与えられています。  
今後とも、フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



学校のイベントでパフォーマンスする子どもたち

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます!2月に中高等学校が開校され、ンゴンベのスラムから、子ども達は徒歩で元気に通学しています。密集したスラムの環境から出て、畑に囲まれた、緑豊かで鳥の囀りが聴こえるのびりとした風景を、子ども達は楽しんでいるようです。そんな喜びも束の間、雨季であるはずの12月から現在の3月まで雨が全く降らず、大統領より干ばつと飢饉へ備えるための声明が発表されました。そして3月11日より、1日8時間の計画停電が全国で始まっています。雨季の期間中に計画停電が始まるのは、未だかつてなかった事で、今年の干ばつと深刻さが思いやられます。そして数ヶ月後には1日12時間～24時間停電になる事が確実とされています。しかし最も危機的な状況が、飢餓です。主食であるトウモロコシ粉が干ばつにより収穫が見込めなくなりました。更に物価上昇と円安も相まって、私たちの学校運営も非常に厳しくなっています。中高等学校建設費の5千万円と共に、今年はこの飢餓を乗り切るために、皆さんに更なるご支援をお願いさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。



開校セレモニー、授業開始、学校で学ぶ生徒たち!

## 松本弘子さんのイラスト



木を鉢に植えるザンビアの子供たち